

平成 28 年 1 月 20 日

各 位

会 社 名 株式会社オークファン
代表者名 代 表 取 締 役 武永 修一
(コード番号 3674 東証マザーズ)
問合せ先 取締役経営管理部長 濱田 淳二
(TEL 03-6809-0951)

株式会社リバリューの株式取得（子会社化）に関するお知らせ

株式会社オークファン（代表取締役：武永修一、本社：東京都渋谷区、東証マザーズ：コード番号 3674、以下「オークファン」）は、本日開催の取締役会において、株式会社ドリームインキュベータより、流通・製造業の資産を流動化するアセットリクイデーション事業を運営する株式会社リバリュー（以下、RV 社）の全株式を取得し子会社化することを決議しましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 株式の取得の理由

当社は、国内最大級のショッピング・オークションの相場検索サイト「aucfan.com」を運営し、これまで創業以来 7 年連続増収と順調な成長を遂げて参りました。今後より一層の成長を果たすために、昨年、BtoB マーケットプレイスである株式会社 NETSEA（以下、NETSEA）を取得しました結果、これまでの B to C、C to C の価格情報提供事業に加え、よりマーケットサイズの大きな B to B 市場を取り込み、さらに市場参加者に対する取引プラットフォームを提供できるようになりました。

今後は、FIntec 分野にも本格的に進出を検討するなど周辺事業までを幅広く展開するために、積極的な投資を行うことを宣言していますが、今回の RV 社の子会社化は、こうした BtoB 市場の戦略において極めて重要な投資となります。RV 社は、企業が持つ返品・余剰品などの在庫を適正価格により流動化し、透明性あるマーケットプレイスを提供しており、ネット通販の拡大等の事業環境変化を背景に、EC サイトだけでなく、一般小売、卸、メーカー等、各業態の荷主企業様にとっても、返品物流や余剰在庫が増加する傾向にある中で、資産流動化（アセットリクイデーション）に関して、マーケティング、財務、オペレーション等のあらゆる観点から総合的なアドバイスを提供し、流動化の実行までをサポートしております。

前述の NETSEA がいわばプロ間の自由取引市場としての特性を有している一方、RV 社は自己売買で在庫のブロックトレーディングをする特性を有しております。

さらに、適正なプライシング、豊富な流動化ネットワーク、検査・検品ノウハウを保有することで、以下のような様々なサービスを展開しております。

- ・リバリューBtoB モール(<http://b2b.revalue.jp/top/guide>)等を通じた、在庫流動化サービス
- ・「トレンドナビ」(<http://trendnavi.revalue.jp/>)等、 価格情報提供機能による、在庫の適正なプライシングの算定サービス

- ・返品物流センター・検品センター、在庫関連コンサルティングサービスなどの付加サービス
- ・海外の事業パートナーと連携した、海外輸出展開サポート等

また、アセットリクイデーションの豊富な経験・実績に加え、世界有数のアセットリクイデーターである米国企業とのパートナーシップを通じて、日本トップクラスの余剰在庫・滞留在庫の処分・買取ノウハウを蓄積しております。

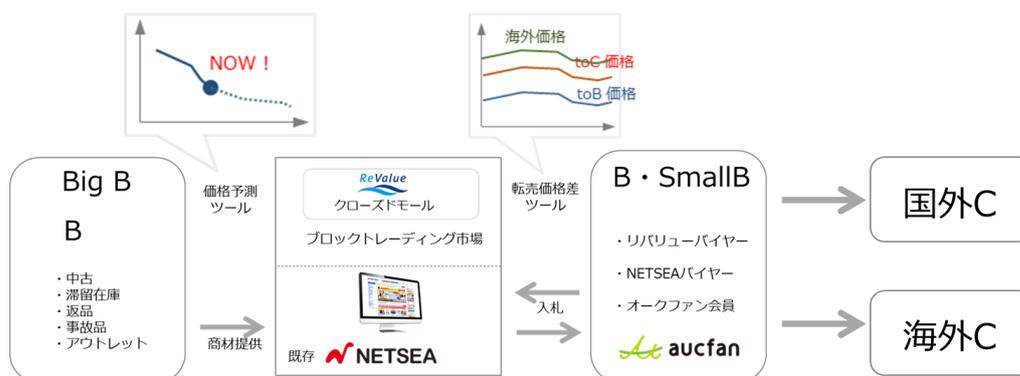
以上のことから、既存事業との相乗効果による事業拡大に向けて RV 社の全株式を取得することといたしました。



2. 既存事業との相乗効果

オークファン及び NETSEA との下記の相乗効果を生み出すことで、既存事業の成長と新規ビジネスを生み出していきます。

- ① オークファンは、「aucfan.com」の有料会員など巨大なバイヤーネットワークを有しており、新たな仕入れ先として「リバリューBtoB モール」が見込めます。また、メディア運営を通じて蓄積された BoC, CtoC の価格データ及びビッグデータ解析技術を「トレンドナビ」に生かすことで、企業が持つ在庫の適正なプライシングの算定の精度向上が実現します。結果、流通・製造業の資産をより流動化し、資産効率の向上に貢献できます。また、将来的には企業在庫を担保とした融資(Asset Based Lending)等、FIntec 分野にも本格的に進出する方針でございます。
- ② NETSEA は、RV 社と相互の顧客やリソース共有により経営基盤が大きく強化されます。商材を持つサプライヤーが、在庫や卸の形態により、「NETSEA」「リバリューBtoB モール」の両プラットフォームを使い分けることができます。新品商品の常設的な卸は NETSEA による直販、一方返品や余剰在庫は RV 社が受発注の形で買い取り、自社のモールで販売します。また、バイヤーネットワークも共通化することで、より流通額が上がり、多様な商品が国内・海外に供給されるようになります。



将来的には企業在庫を担保にした融資(Asset Based Lending)等、FIntec分野にも本格的に進出

今後も、当社のミッションである「あらゆる人が、あらゆる場所で、あらゆるモノを売り買いできる新たな時代を創る」ことを幅広く実践するために、一層の事業活動の拡大に努めてまいります。

3. 異動する子会社の概要

(1) 名 称	株式会社リバリュー		
(2) 所 在 地	東京都千代田区霞が関三丁目2番6号		
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 向笠 元		
(4) 事 業 内 容	返品商品・余剰在庫の流動化サービス 返品物流センター業務委託		
(5) 資 本 金	4億70百万円		
(6) 設 立 年 月 日	平成20年7月10日		
(7) 大株主及び持株比率	株式会社ドリームインキュベータ 100% (14,800株)		
(8) 当 社 と の 関 係	資 本 関 係	該当事項はございません。	
	人 的 関 係	該当事項はございません。	
	取 引 関 係	該当事項はございません。	
(9) 当該会社の最近3年間の経営成績及び財政状態			
決算期	平成25年3月期	平成26年3月期	平成27年3月期
純 資 産	45百万円	447百万円	135百万円
総 資 産	186百万円	512百万円	239百万円
売 上 高	482百万円	744百万円	713百万円
営 業 利 益	△58百万円	△135百万円	△297百万円
経 常 利 益	△58百万円	△136百万円	△296百万円
当 期 純 利 益	△58百万円	△137百万円	△312百万円
1株当たり当期純利益	△3,962円42銭	△9,290円26銭	△21,086円32銭

4. 株式取得の相手先の概要

(1) 名 称	株式会社ドリームインキュベータ		
(2) 所 在 地	東京都千代田区霞が関三丁目2番6号		
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役会長 堀 紘一		
(4) 事 業 内 容	ベンチャー投資・育成、企業コンサルティング事業		
(5) 資 本 金	48億38百万円 (平成27年9月末現在)		
(6) 設 立 年 月 日	平成12年4月		
(7) 純 資 産	100億96百万円 (平成27年9月末現在)		
(8) 総 資 産	142億18百万円 (平成27年9月末現在)		
(9) 大株主及び持株比率	堀 紘一 13.31% (平成27年9月末現在)		
(10) 当 社 と の 関 係	資 本 関 係	該当事項はございません。	
	人 的 関 係	該当事項はございません。	
	取 引 関 係	該当事項はございません。	
	関連当事者への該当状況	該当事項はございません。	

5. 取得株式数及び取得前後の所有株式の状況

(1) 異動前の所有株式数	0株 (議決権の数：0個) (議決権の所有割合：0%)
(2) 取 得 株 式 数	14,800株 (議決権の数：14,800個)

(3) 異動後の所有株式数	14,800 株 (議決権の数 : 14,800 個) (議決権の所有割合 : 100.0%)
(4) 取得価格	取得価格につきましては、株式譲渡先との合意により非公表とさせていただきます。なお、取得価格は第三者機関の評価算定報告書を勘案し、双方協議の上、合理的な調整のもと算定し、社外取締役及び社外監査役を含む当社取締役会において公正かつ妥当である判断し、その合理性についても担保されていると認識しております。

6. 日程

(1) 取締役会決議日	平成 28 年 1 月 20 日
(2) 契約締結日	平成 28 年 1 月 20 日 (予定)
(3) 株式譲渡実行日	平成 28 年 1 月 25 日 (予定)

7. 今後の見通し

本件株式取得による平成 28 年 9 月期の当社連結業績への影響は現在精査中であり、重要な影響を与える見込みが生じた場合には、確定後速やかに開示する予定であります。

(参考) 当期業績予想 (平成 27 年 11 月 13 日公表分) 及び前期実績

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
当期業績予想 (平成 28 年 9 月期)	2,101 百万円	223 百万円	250 百万円	237 百万円
前期実績 (平成 27 年 9 月期)	1,507 百万円	171 百万円	172 百万円	201 百万円

以上